

平成 19 年 度

田川市財政健全化審査及び
経営健全化審査意見書

田 川 市 監 査 委 員

田 監 第 1 0 7 号

平成 20 年 9 月 3 日

田川市長 伊 藤 信 勝 殿

田川市監査委員 村 上 耕 一

田川市監査委員 加 藤 秀 彦

平成 19 年度田川市財政健全化審査及び
経営健全化審査意見書の提出について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項及び第 22 条第 1 項の規定により審査に付された、財政健全化判断比率及び公営企業会計の資金不足比率について審査したので、その意見を提出します。

田川市財政健全化審査

1 審査の概要

この財政健全化審査は、市長から提出された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

2 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された下記、健全化判断比率及びその算定基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

記

| 比率名 | 平成 19 年度 | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|----------|----------|---------|--------|
| 実質赤字比率 | — | 12.98% | 20.00% |
| 連結実質赤字比率 | — | 17.98% | 40.00% |
| 実質公債費比率 | 13.8% | 25.0 % | 35.0 % |
| 将来負担比率 | 33.2% | 350.0 % | |

(2) 訂正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。

田川市経営健全化審査（水道事業会計）

1 審査の概要

この経営健全化審査は、市長から提出された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

2 審査の結果

（1）総合意見

審査に付された下記、資金不足比率及びその算定基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

記

| 比率名 | 平成 19 年度 | 経営健全化基準 |
|--------|-----------------------------|---------|
| 資金不足比率 | 資金不足額なし（ $\Delta 29.03\%$ ） | 20.0% |

（2）個別意見

審査に付された平成 19 年度の資金不足については、資金不足比率の算式で算出した結果がマイナスの数値となるため「資金不足なし」という結果となった。

資金不足比率の算式で算出した実数値は $\Delta 29.03\%$ であり、経営健全化基準を十分にクリアする数値である。

また、決算審査意見書に記載した水道事業の財務の短期流動性を表示する流動比率は 869.4%となっており、理想比率 200%を大幅に超えている。

（3）訂正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。

田川市経営健全化審査（病院事業会計）

1 審査の概要

この経営健全化審査は、市長から提出された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

2 審査の結果

（1）総合意見

審査に付された下記、資金不足比率及びその算定基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

記

| 比率名 | 平成 19 年度 | 経営健全化基準 |
|--------|----------------------------|---------|
| 資金不足比率 | 資金不足額なし（ $\Delta 3.76\%$ ） | 20.0% |

（2）個別意見

審査に付された平成 19 年度の資金不足については、資金不足比率の算式で算出した結果がマイナスの数値となるため「資金不足なし」という結果となった。

資金不足比率の算式で算出した実数値は $\Delta 3.76\%$ であり、経営健全化基準からみれば余裕があるといえる。

しかし、決算審査意見書に記載した病院事業の財務の短期流動性を表示する流動比率は 120.8%となっている。流動比率の理想比率は 200%以上であることから考慮すると余裕のある状態とはいえない。

（3）訂正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。